

110 はちまんじんじゃ ほんでん
八幡神社の本殿



指 定 市有形文化財 平成9年2月20日
所在地 八 幡
所有者 八幡神社

本殿は、安永10年（天明元年1781）小諸藩主牧野遠江守康満が大願主となって、寺尾山、諏訪山の材木の寄進、近村の多額の寄付と、諏訪、上小、南北佐久にわたって浄財が集められ、天明3年（1783）5月27日遷宮まで3カ年の歳月を要して築造された。

大工棟梁は野沢の小泉吉右衛門で、彫刻は上州田沢花輪地方出身の京都御用御彫師高松□八郎となっている。

祭神は誉田別天皇（応神天皇）、息長帯姫命（神功皇后）、玉依姫命の三柱となっている。